

2021年1月21日

西日本旅客鉄道株式会社

岡山支社

在来線普通列車を活用した荷物輸送の実証実験の実施について

JR西日本岡山支社では、岡山・備後エリアの魅力的な産品を掘り起こし、国内外に広くその魅力を発信する取り組みとして「ふるさとおこしプロジェクト」を推進しております。

その一環として、岡山・備後エリアの地域の産品を列車に積載し、運送先で販売を行うという荷物輸送を検討しています。この度、在来線普通列車（定期列車）による実施に向けて、安全性の確認を目的とした実証実験を行いますのでお知らせいたします。

- 概要** 晴れの国岡山農業協同組合（JA晴れの国岡山）及びヤマト運輸(株)との連携により、定期列車にて地域の農産物を運送し、駅ナカ店舗にて販売することを検討しています。その本格導入に先駆けて、輸送の安全性の確認を目的とした実証実験を行います。（別紙参照）
- 目的** (1)貨物積載及び駅構内運送のオペレーションの安全性を確認
(2)列車内での安全性及びお客様の利便性が担保されているかについて確認
- 線区** 伯備線 普通列車（定期列車：備中高梁駅⇒岡山駅間）
- 対象列車** 備中高梁駅【午後2時27分発】⇒岡山駅【午後3時19分着】
※備中高梁駅で対象列車に積載し、岡山駅で積み下ろし予定
※列車内客室スペースに積載予定
※対象列車については列車運用上の都合により変更となる可能性があります。
- 実施日** 1月29日（金）から実施
※実験内容・回数および終了時期については結果を踏まえて検討
- その他** 今回の実証実験では、配送ボックスのみの輸送等で実験を行います。今回は、地域と連携した農産物輸送および販売の実験を行うとともに、駅での農産物販売ニーズについても調査する予定です。
※次回の実験については決まり次第お知らせします。

在来線を用いた荷物輸送の実証実験

- ・JA晴れの国岡山やヤマト運輸(株)と連携し、伯備線普通列車（定期列車）にて地域の農産物を運送し、駅ナカ店舗にて販売することを検討
- ・先駆けとして輸送の安全性の確認を目的とした実証実験に着手



- ・ 実証実験は、1月29日（金）から実施
- ・ 今回の実証実験では、配送ボックスのみの輸送等で実験
- ・ 次回は、地域と連携した農産物輸送および販売を実験予定(駅での農産物販売ニーズを調査)